令和元年度 事前評価点検表 (内部評価)

1 事業概要

↑ 事業概要				
事業名	樫井川かわまちづくり事業			
担当部署	都市整備部 河川室 河川環境課 環境整備グループ (連絡先06-6944-9306)			
事業箇所	泉佐野市 南中樫井地内 外			
	関西国際空港が存する泉佐野	市は多くの旅行客	で賑わってお	おり、地域資源や特性を活かした
事業目的	さらなる観光振興を計画・推進している。その一環として泉佐野市が作成した「樫井川かわ			
	まちづくり計画」に基づき、樫井川の親水護岸や管理用通路を整備し、周辺の歴史資源や自			
	然環境を活かした魅力ある水辺空間を創出するものである。			
	河川基盤整備【大阪府実施】			
	●周辺の歴史資源を活かした親水空間の整備(神楽等の実施に係る基盤整備)			
	・階段護岸整備:左岸35.0m			
	●自然環境を活かした水辺空間の整備(遊歩道・サイクリングロードの整備に係る基盤整備)			
	・低水護岸工、天端保護工、	・低水護岸工、天端保護工、管理用通路整備、スロープ整備等:左右岸合計約1640.0m		
事業内容				
	河川上面整備【泉佐野市実施】			
	●周辺の歴史資源を活かした業	親水空間の整備(神	楽等の実施に	係る上面整備)
	・能舞台設置:左岸1箇所			
	●自然環境を活かした水辺空間			ロードの整備に係る上面整備)
		・植栽、サイン設置、休憩施設設置:延長約4,000m		
	全体事業費:約7.2億円〔国		付:約3.6億	贰円 、巾:約 1. 8 億円↓
	(内訳)設計費 約 0.3 億円 工事費 約 6.9 億円			
	工事員 小10.7			
		【工事費の内訳】		
事業費	詳細設計成果を基に概算事	大阪府事業		泉佐野市事業
	業費を算出	階段護岸工	約 0.4 億円	能舞台設置 :約0.1億円
		低水護岸工	約3.2億円	水辺空間整備:約1.6億円
		天端保護工	約 0.4 億円	
			約 0.7 億円	
		スロープ整備等		
す光典の亦動亜田			備についてに	は、地元協議等の結果により地権
事業費の変動要因	者への補償費等が生じる可能	性がある。		
	約 1, 180 万円/年(管理用通		 泉佐野市へ引	
維持管理費				
推打自建镇				
関連事業	_			
	·			

2 事業の必要性等に関する視点

_ , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	関する視点			
し仕割画がに	第4次泉佐野市総合計画後期基本計画(平成26年3月)			
上位計画等に	泉佐野市都市計画マスタープラン(平成21年3月)			
おける位置付け	泉佐野市緑の基本計画(平成28年3月)			
	樫井川水系河川整備計画(大阪府 平成28年6月)			
	泉佐野市が作成し国から認定された「樫井川かわまちづくり計画」に係る事業であり、令和			
優先度	5年度末の計画完成を市が目標としているため。			
	泉佐野市は、関西国際空港が存する世界と日本を結ぶ玄関都市であり、集客の中心地である			
本 业 ナ	「りんくうタウン」は、多くの観光客で賑わっている。一方で、南中樫井地区を中心とする			
事業を巡る	地域においては、周辺の歴史文化施設等の各拠点間の回遊性が確保されていない等の課題を			
社会経済情勢等	解消することにより、地域資源や特性を活かしたさらなる観光振興を推進していく必要があ			
	る。			
	「樫井川かわまちづくり計画」の主体である泉佐野市のもと、関連する地元自治会、観光協			
地元の協力体制等	会、観光ボランティア協会、シティープロモーション推進協議会、アドプト団体等による「樫			
	井川かわまちづくり推進協議会」を設置し計画の推進を図っている。			
	【効果項目】			
	魅力ある水辺空間の創出			
	【分析結果】			
事業の投資効果	B/C=2.31			
<費用便益分析>	B=約 19.7 億円 C=約 8.5 億円			
または				
<代替指標>	【算出方法】			
	「河川に係る環境整備の経済評価の手引き」(平成31年3月)			
	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課			
	【受益者】			
	府民、泉佐野市民			
	【安全・安心】			
	・護岸整備により老朽化護岸区間の安全が確保される。			
	・河川管理用通路未整備区間が解消される。			
事業効果の	「個川管理用理的不登開区間が解析される。			
定性的分析	・本事業の完成により観光客数の増加が予想され、周辺地域の活性化も見込まれる。			
(安全・安心、活力、 快適性等の有効性)	・ 本事業の元成により観儿各数の増加が予念され、同辺地域の倍性化も兄匹よれる。 【快適性】			
	・遊歩道や自転車道の整備による生活環境の向上			
	・近少垣や日転車垣の金棚による生石泉境の同工 【受益者】			
	・府民、泉佐野市民			
	MIN ALLA III			

3 事業の進捗の見込みの視点

	河川基盤整備(大阪府)		
	令和2~5年度:設計、整備工事を実施(階段護岸整備区間から順次実施予定)		
事業段階ごとの			
進捗予定と効果	河川上面整備 (泉佐野市)		
	令和2~5年度:設計、整備工事を実施(基盤整備完了済みの箇所から実施予定)		
完成予定年度	令和5年度		

4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

	特になし
代替手法との	
比較検討	
LU WY (央 i)	

5 特記事項

	特になし
自然環境等への	
影響とその対策	
	特になし
その他特記事項	
C 42 图 机 配 争 · 关	

6 評価結果

	○事業実施
評価結果	〈判断の理由〉 泉佐野市の南中樫井地区を中心とする地域は、周辺の歴史文化施設等の各拠点間の回遊性が確保されていない等の課題がある。泉佐野市は、これらの課題を解消し、地域資源や特性を活かしたさらなる観光振興を推進していくために、「樫井川かわまちづくり計画」を策定しており、本事業は「樫井川かわまちづくり計画」に基づく事業である。また「樫井川かわまちづくり計画」は、計画の主体である泉佐野市のもと、関連する地元自治会、観光協会等からなる「樫井川かわまちづくり推進協議会」を設置し、計画の推進を図っており、地元の熱意も高い事業である。 以上の理由から、事業を実施する。



令和元年度 事前評価 (樫井川かわまちづくり事業)

